

【豪ドル】 通商リスク緩和で堅調、過熱感には要注意

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
豪ドル/円	92.33-95.51円	93.00-97.00円	85.00-98.00円

豪ドル/円相場は、1豪ドル=95円台中盤まで値上がりする展開になった。通商環境の改善期待を背景に、豪ドルは底固く推移した。投資家のリスク選好性の高まりが、資源国通貨の押し上げ圧力に直結している。5月8日に米英の貿易協定が締結されたのに続き、12日には米中両国が関税の大幅引き下げで合意している。米中両国経済の減速懸念が後退していることが、資源国通貨に上昇に直結している。米国の対中関税は145%から30%、中国の対米関税は125%から10%まで、それぞれ115%引き下げられる。90日間の暫定措置であり、関税が完全に解消された訳ではないが、それでも初回協議で関税の大幅引き下げで合意できたことにはサプライズ感が強かった。

引き続き通商環境が重視される。リスクオン環境が維持されると、このまま95円の節目を完全に上抜き、96~97円水準を打診する展開になろう。ただし、世界各国の株価は相互関税発動前の水準を上回り始めており、過熱感が極めて強くなり始めていることには注意が必要。豪ドル/円相場も買われ過ぎのゾーンに突入し始めており、特に意味なく持高調整で下げるリスクを抱えた状態になっている。通商環境の改善期待が維持されることを前提にしても、突発的な下落リスクには注意が求められる。豪ドルの独自材料としては、5月15日に4月雇用統計が発表される。市場予想だと、新規雇用者数は前月比2.00万人増と、前月の3.22万人増から伸びが鈍化する見通し。豪中央銀行は20日の政策会合で0.25%の利下げに踏み切ることが確実視されているが、こうした金融政策見通しに修正を迫ることはないだろう。通商環境改善を背景とした押し目買い優勢の地合を基本にしつつ、過熱感から持高調整が膨らむリスクに注意が必要な地合を想定したい。下値は93円水準まで見ておく必要がある。

サイコロジカルは、前週の9勝3敗から10勝2敗に。14日RSIは69.75。

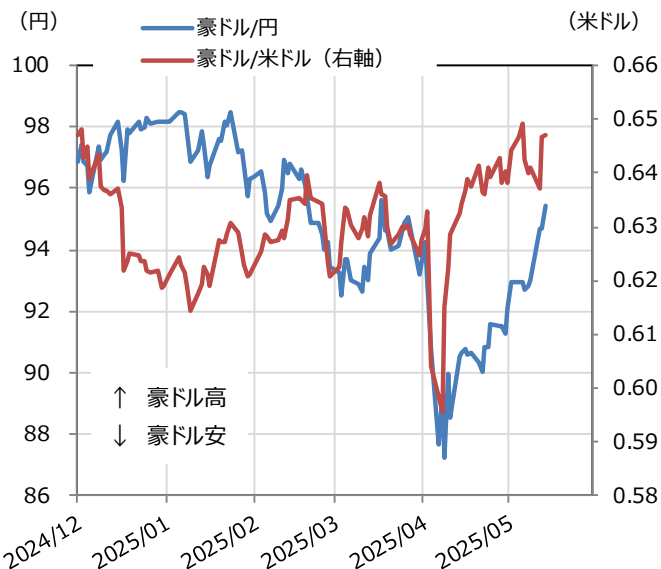
注目イベント

【オーストラリア】

- 05/14 (水) 1~3月期四半期賃金指数
- 05/15 (木) 4月新規雇用者数

【日本】

- 05/14 (水) 4月国内企業物価指数
- 05/16 (金) 1~3月期GDP
- 05/16 (金) 3月鉱工業生産
- 05/21 (水) 4月貿易統計
- 05/22 (木) 3月機械受注



本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。
Copyright © Marketedge Co., Ltd.

政策金利一覧

(%)	日本	米国	ユーロ圏	豪州
2023/01	-0.10	4.50	3.00	3.10
2023/02	-0.10	4.75	3.00	3.35
2023/03	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/04	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/05	-0.10	5.25	3.75	3.85
2023/06	-0.10	5.25	4.00	4.10
2023/07	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/08	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/09	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/10	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/11	-0.10	5.50	4.50	4.35
2023/12	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/01	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/02	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/03	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/04	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/05	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/06	0.10	5.50	4.25	4.35
2024/07	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/08	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/09	0.25	5.00	3.65	4.35
2024/10	0.25	5.00	3.40	4.35
2024/11	0.25	4.75	3.40	4.35
2024/12	0.25	4.50	3.15	4.35
2025/01	0.50	4.50	2.90	4.35
2025/02	0.50	4.50	2.90	4.10
2025/03	0.50	4.50	2.65	4.10
2025/04	0.50	4.50	2.40	4.10
2025/05	0.50	4.50		
2025/06				
2025/07				
2025/08				
2025/09				
2025/10				
2025/11				
2025/12				

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: kosuge.tsutomu@outlook.com

Twitter @[kosuge_tsutomu](https://twitter.com/kosuge_tsutomu)